

# 外環振動・低周波音調査会(2021年5月～)

## ～陥没事故から5年目の時点での振り返り～

上田昌文(世話人、NPO法人市民科学研究室)

### ●地盤リスク問題への対処とは

- 1) 不安や懸念を伝え、対応を求める  
→多くの場合、「地盤リテラシー」がないため、言いくるめられがち
- 2) 被害の実態を把握し、補償と対策を求める  
→(独立した)専門家の協力が得られにくく、  
事業者は無視を決め込みがち
- 3) 地盤リスクを察知するための予防的観測体制を設ける  
→事業者によるモニタリングの不備と限界を知り、自ら備える
- 4) 事業者の”分断”の策略に対抗すべくコミュニティの結束を強める  
→地元ならびに広域的な住民運動の体制をどう築くか
- 5) 現地の問題を継続的に報道してもらう  
→大手メディアの頼りなさ、フリージャーナリストとの協力関係

2021年5月

市民科学研究室が被害者住民らと共同で「外環振動・低周波音調査会」立ち上げ  
2021年8月から現在

奇数週金曜日にオンライン定例会合（10数名が参加）、現在までに112回開催  
2021年7月から現在

講師を招いての学習会、意見交換会、見学会そして調査結果の発表会など40回

### ◆主たる調査

●2021年度：振動と低周波音による健康被害の実態調査

●2022年度：振動による建物損壊の実態調査

●2023年度：地盤補修工事エリアの状況把握と対策

●2024年度：気泡発生、地表面変位、事業者のモニタリングの検討

騒音振動モニタリング、地下水、シールドマシン損傷事故

についての事業者への公開質問と交渉

●全年度を通して：シールドマシンによる掘進が進行・再開されている  
エリア（外環道の練馬、三鷹、世田谷エリア、横浜環状南線エリア、リニア  
中央新幹線エリア）での中古iPhoneを用いた振動計測網の確立

特集記事

【動画】市民研の活動の概要をご覧くださいませ  
す（2025年2月13日収録）

市民科学研究室



カテゴリ: 304.最新ニュース

2025年2月13日に新宿NPO協働推進センター（「地域を支える社会  
貢献活動団体のネットワークづくりの活動拠点」）のお招きで、そ  
のセンターが長年続けている「市民とNPOの交流サロン」で、市  
民科学研究室の上田がお話をさせて... [続きを読む](#)

特集記事

市民研・今週の予定を動画で紹介

検索

アーカイブから記事を探す

カテゴリを選択



質問、意見、  
提案、相談など  
お寄せください

市民研 今後の予定



PJ 市民による電磁波計測

PJ VIPROS 生命科学での  
映像制作支援

PJ 外環振動・低周波音調査会

PJ 廃校有効活用(二本松市)

PJ お酒の文化と科学

PJ 音声ガイドでまち探索



查が拓く  
|分析

市民科学の代表理事  
（2020年）とその内容  
で、「市民が共同で  
む」

その他 303.イベント告

にて「いの  
」構図」

で長年にわたる実績  
2025年度後期の講座  
りちを採った先人た

»

# PJ 外環振動・低周波音調査会

「外環振動・低周波音調査会」のこれまでの活動の経過を、市民科学研究室ウェブサイトに掲げた個々  
の記事を時系列に並べて示しています。報告書、集案案内、質問状、動画資料などの主だった情報はこ  
れらの記事のなかにリンクをはって掲載しています。

## ●2025年

6/18

[東京外環道トンネル工事に関する「東名」CT・Hランプシールドトンネル工事におけるテールシールド損傷  
についての公開質問状（その2）」を提出](#)

6/2

[「かわさき市民アカデミー」にて講義「災害の激甚化と住まい―地震・建物のリスクを考える」（講座10  
「人の体と心を知り、リスクのなかに生きる」のなかの第7回）」を実施](#)

3/29

講演「リニア工事の振動をスマホで測定・記録する講習会」（主催：リニア新幹線建設工事差止訴訟・原  
告団）

3/1

[講演「外環トンネル工事による振動・低周波音被害に備える」（主催：元関町一丁目町会外環対策委員  
会）」](#)

2/8

[土曜講座「生活と科学技術―問題解決のための見取り図」第7回「インフラの老朽化とその対策を考え  
る」](#)

2/2

外環トンネル工事に伴う健康被害（Hさん）に対する医療費補償に関する意見書提出

## ●2024年

12/1

[i-phoneによる振動測定の案内動画を公開](#)

10/2

[『東京新聞』に「横浜環状南線トンネル工事 沿線の振動、騒音問題 住民の体調不良は低周波音が影  
響か 現地調査のNPOが報告」掲載](#)

9/15

[講演「外環トンネル工事による振動・低周波音被害を問う」](#)

9/23

# ●調布の陥没事故エリアの住民にみられる被害状況は何を教えているか

- 1) 陥没と空洞を生じたにもかかわらず、事業者が今後そうしたことを引き起こさない保証はない(科学的に十分納得のいく原因究明がなされないまま、これまでの工法で掘進を継続することを優先しようとしている): 地盤条件が似ていれば新たな 同様の事故が発生する恐れがある。
- 2) 健康被害の存在を認めていない(個別に医療費が発生すればそれを支払うことはかろうじてある)。
- 3) 建物被害の因果関係を認めず、個別・戸別の「補修」でことを済ませることにしている。
- 4) どのエリアにおいても、シールドマシン掘進時には事業者は「適当な」頻度で騒音・振動・低周波音 モニタリングを行っているが、それらは被害状況の究明に 使えるデータにはまったくなっていない。

# ●騒音・振動・低周波音測定の課題と対応策

- ・測定器が高価であり、専門業者への依頼も高価になる
- ・本来は、優先順に
  - ①事業者が測ってデータを公開
  - ②行政が測ってデータを公開
  - ③住民自身が測る（①と②がない、もしくは不備がある場合）
- ・データの解析が容易ではない
- ・多数の地域で同時並行的に測る必要が出てくる場合がある  
→逆に言うと、1箇所のデータが他で生かせる可能性がある
- ・体感データとの突き合わせが「予防」のためには重要だが、事業者はその視点がない（「参照値以下」を後付で示すのみ）
- ・次の複数のアプローチが求められる
  - 1) 事業者に測定とデータ公開の適正化を求める
  - 2) 行政に測定器を貸出し住民を支援するよう求める
  - 3) 住民が自宅で長期かつ簡易にモニタリングできる測定法を開発して普及させる

acc 7

6/10

6:30-

マシンの起動様の音とともに低周波音

8:30-

台所カウンターと電子レンジにもいまだに振動あり 本日最大の揺れあり

Gさん 6月10日  
朝8時00分  
～9時00分

7/10

8:20-

音がかなり大きく響く。

10:30-

同上。音もそうだが響く感じがとにかく不快。身体によくない。特に頭に響く感じが言い難い苦痛。ズンズンと連続的な音。玄関ドアがビビッと振動した。

Wさん 7月10日  
朝10時00分  
～11時00分



測定者・氏名 : \_\_\_\_\_

測定者・住所 : \_\_\_\_\_

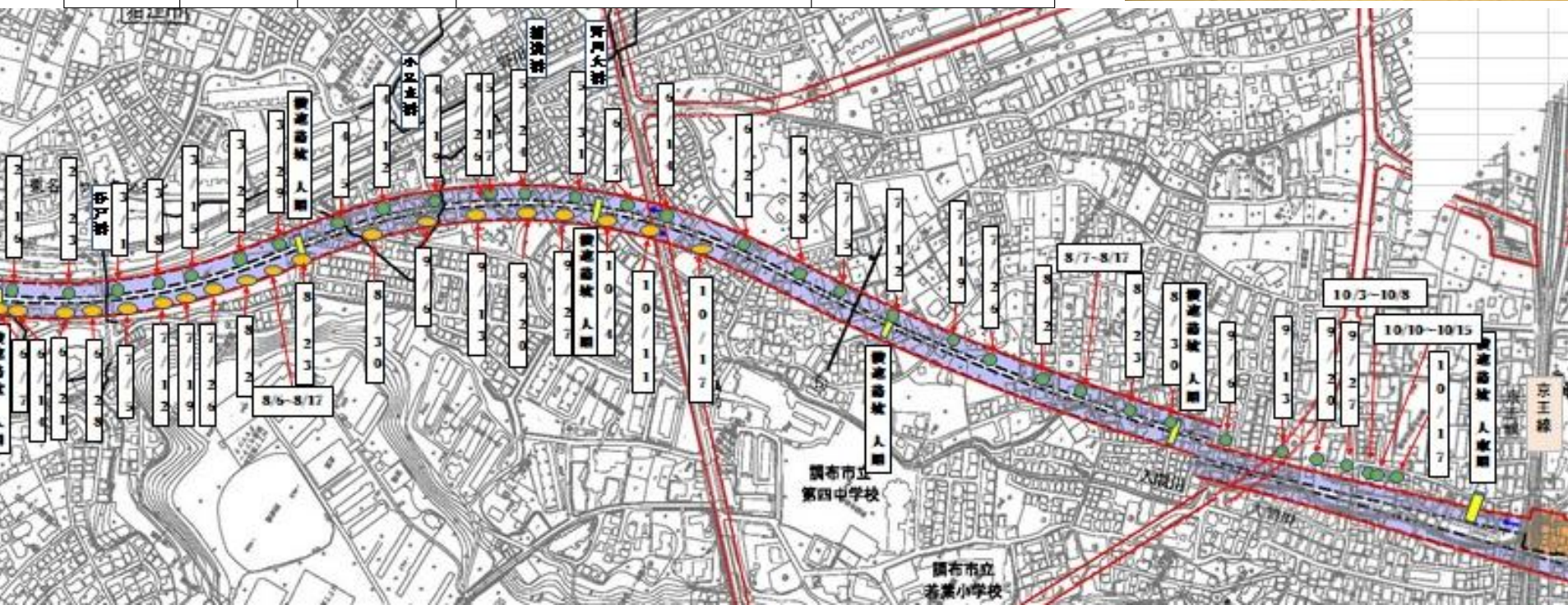
電話 : \_\_\_\_\_

仲介者 : \_\_\_\_\_

測定期間 : \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 から \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 まで

測定者作成の地図の添付の確認

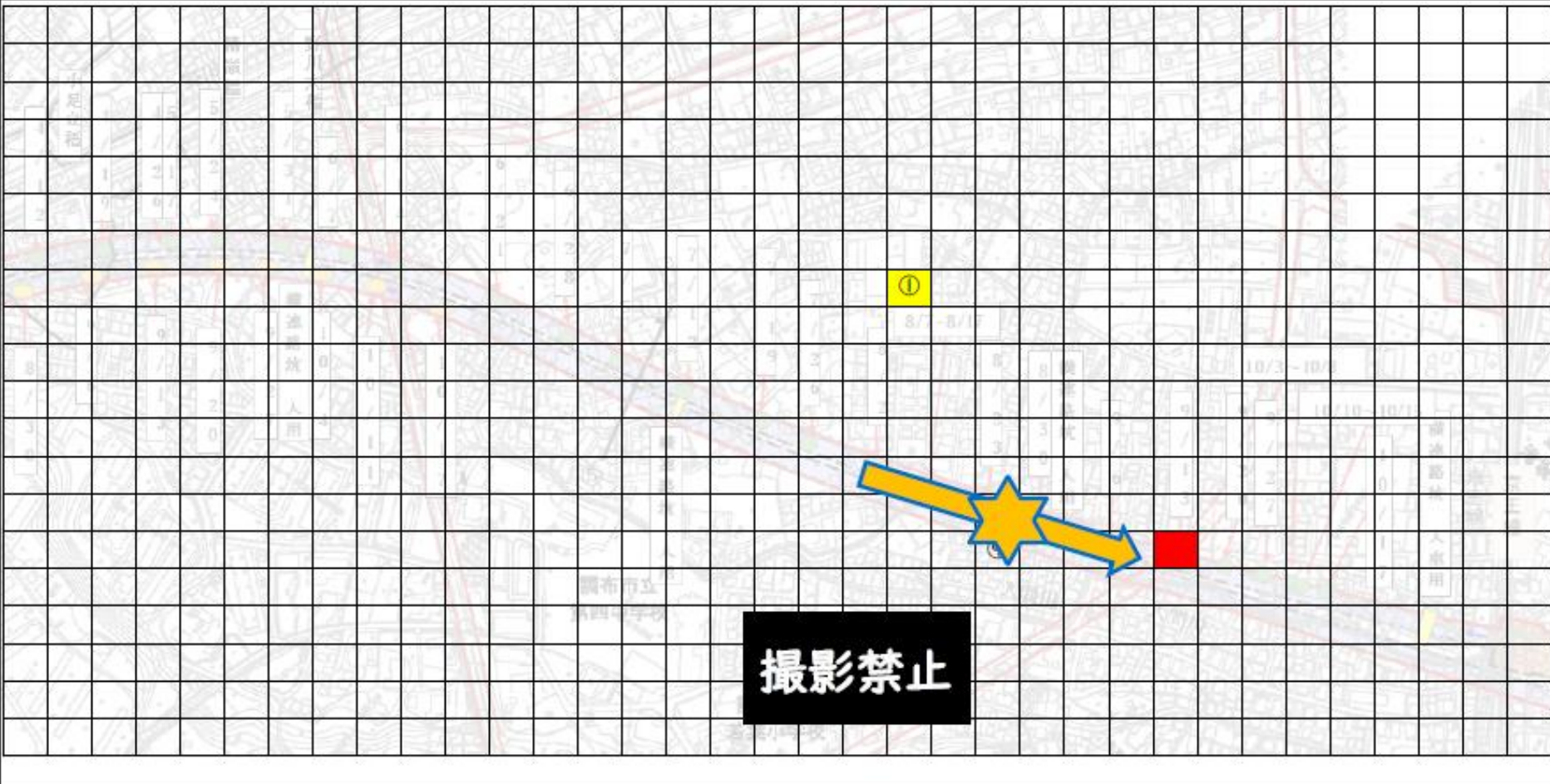
| ○月○日 | ○時○分 | SM の位置を<br>地図に書いたか | 体感したことをできるだけ<br>詳しく書く（音、振動、気付いたこと） | 特記事項（事業者の情報、<br>環境の変化など諸々） |
|------|------|--------------------|------------------------------------|----------------------------|
|      |      |                    |                                    |                            |
|      |      |                    |                                    |                            |
|      |      |                    |                                    |                            |
|      |      |                    |                                    |                            |
|      |      |                    |                                    |                            |
|      |      |                    |                                    |                            |
|      |      |                    |                                    |                            |
|      |      |                    |                                    |                            |





① 男性【60代】 8/2-9/10 ピーク 8/25-26 南行きから 75 北行きから 50

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 振動・低周波音 | ともにあり                      |
| ピーク時体感  | 家の中がクーラーになったような、工場の中にいるような |
| 心身異変・通院 | 自分はなし、妻は不安感                |
| 停止後持続性  | (壁に耳をつけると振動あり)             |
| 物理的被害   | 水道管の下に陥没、水道管が破裂(陥没事故の少し前)  |





大深度地下トンネル工事による振動・低周波音被害聞き取り調査（25 名）の結果のまとめ

矢印の左端が振動・低周波音を感じ始めた時期（右端は感じなくなった時期）。★は知覚・体感のピーク時。➡ 停止後も症状が持続。

【作成：上田昌文 (NP0 法人市民科学研究室) 2021/12/11 (2022/01/08 に補足追加)】

|      | 2019 年<br>1～4 月* | 2019 年<br>5～8 月 | 2019 年<br>9～12 月 | 2020 年<br>1～4 月 | 2020 年 5 月 | 2020 年 7 月 | 2020 年 8 月 | 2020 年 9 月 | 2020 年 10 月 | ●体調悪化<br>★停止後も<br>持続 | ●通院<br>▲避難(自宅<br>以外へ) | 陥没後<br>●知覚あり<br>▲あると思う | ★直上<br>●入間川から<br>30m 以内 |
|------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------|------------|------------|------------|-------------|----------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|
| 23 女 | ★                |                 |                  |                 |            |            |            | ★          |             |                      |                       | ●                      |                         |
| 22 男 |                  | ↔               |                  |                 |            |            |            |            |             |                      |                       |                        |                         |
| 21 女 |                  | ↔               |                  |                 |            |            |            |            |             |                      |                       |                        |                         |
| 24 女 |                  | ↔               |                  |                 |            |            |            |            |             | ●                    |                       |                        |                         |
| 25 女 | ↔                | ↔               |                  |                 |            |            |            |            |             | ●                    |                       | ▲                      |                         |
| 6 女  |                  |                 |                  |                 | ↔          |            |            | ↔          | ➡           | ●★                   |                       | ●                      |                         |
| 4 女  |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔★         | ↔          |             | ●                    |                       | ●                      |                         |
| 1 男  |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔★         | ↔          |             |                      |                       |                        |                         |
| 17 女 |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔          |            |             |                      |                       |                        | ☆                       |
| 18 女 |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔★         |            |             | ●                    | ▲                     |                        |                         |
| 9 男  |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔          |            |             |                      |                       |                        |                         |
| 15 女 |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔          | ↔          | ➡           | ●★                   | ●                     | ●                      |                         |
| 7 女  |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔★         | ↔          | ➡           | ●★                   |                       | ●                      |                         |
| 11 女 |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔          |            |             |                      |                       |                        |                         |
| 5 女  |                  |                 |                  |                 |            |            |            | ↔          |             |                      |                       | ●                      | ○                       |
| 19 男 |                  |                 |                  |                 |            |            |            | ↔          |             |                      | ▲                     |                        |                         |
| 12 女 |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔★         | ↔          | ➡           | ●★                   | ▲                     | ●                      | ○                       |
| 13 男 |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔★         | ↔          |             |                      |                       |                        |                         |
| 14 女 |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔★         | ↔          |             | ●                    |                       |                        | ☆○                      |
| 3 女  |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔          | ↔          |             | ●                    | ●                     | ●                      | ○                       |
| 16 女 |                  |                 |                  |                 |            |            | ↔          | ↔          | ➡           | ●★                   | ●                     |                        |                         |
| 2 女  |                  |                 |                  |                 |            |            |            | ↔          | ➡           | ●★                   | ●                     | ●                      |                         |
| 10 男 |                  |                 |                  |                 |            |            |            | ↔          |             |                      |                       |                        |                         |
| 20 男 |                  |                 |                  |                 |            |            |            |            | ↔           |                      |                       |                        | ☆○                      |
| 8 女  |                  |                 |                  |                 |            |            |            |            | ↔           | ●                    | ●                     | ●                      | ○                       |

- ・\*南行が 2019 年 1 月 21 日、北行が同 2 月 25 日に掘進を開始。矢印の赤は南行、青は北行の工事の時期の影響と考えられるもの。
- ・23, 22, 21 が世田谷区、24, 25 が狛江市、ほかはすべて調布市。行の色分けは近隣地域同色としている。
- ・「23 女」の方は時期が長期間にわたって断続的に知覚・体感。「11 女」と「8 女」の方は時期の記憶が不確で「おそらくこの頃」という推定。
- ・「2 女」の方は停止後のボーリング調査工事でさらに体調悪化。
- ・体調悪化、通院、避難などの●▲★は女性、●▲★は男性。

# ●聞き取り調査からみえること

1) シールドマシン工事の進行の時期と振動・低周波音の体感ならびに体調悪化の时期的な相関はきわめて高い。

もし、この工事が行われなかったら発生しなかったであろう、特徴的な体調悪化とその持続が、かなり高い頻度で発生している。ただし、似たような曝露を受けていた者でも体感と体調悪化では個人差が非常に大きい。

調査対象総数25名（うち女性18名、男性7名）のうち、何らかの症状が出たり体調悪化を訴えた者が13名に達し（すべて女性）、そのうち6名が低周波音被害と考えられる過敏化症状に今なお苦しんでいる。

また、症状は出ていないものの、大きなストレス、精神的苦痛を被った者を含めると15名に達する。そのうちの多く（12名）が、「この振動や音がどこから来ているのか」がわからずに苦しむ時期が長かったことも、その苦痛と不安を強めることになっていたと推測される。

2) 低周波数を含む微振動と聴覚範囲外の周波数を含むだろう低周波音の双方を、長期にわたって（平均して1ヶ月弱）曝露するという事態はおそらく前例をみないものであり、今回、得られた証言から、多くに共通する特徴的な知覚・体感や体調悪化の証言が得られたのも、そのことのためであると考えられる。

このことから、**シールドマシン大深度地下工事が、比較的軟弱な地盤において—長期の微振動を与えながらさらに地盤を緩ませるというリスクもあると想像できる—進行した場合に、今回と同様の振動・低周波音被害が、工事直上のみならずその周辺のかなり広い範囲において、発生する恐れがある。**

# ●建物被害の調査の必要性

- ・事業者は、大深度地下トンネル工事で発生したと思われる家屋などの損壊も、工事前から発生していただろう損壊（経年劣化）もいっしょくたにして、**個別の「補修」**で済ませようとしている
- ・しかしこれでは、工事による**建物損壊の被害の実態**はわからない
- ・また、**補修・補償の対象範囲が適正か**どうかもわからない
- ・この大深度地下シールドマシン工事によって、地上部の家屋において、どんな損壊が生じたのか—その因果関係を、広域的な調査によってある程度明らかにしない限り、**まともな再発防止策**はとれない
- ・行政がこうした調査に向けて動かないなかで、「外環振動・低周波音調査会」が**2022年3月から地域を詳細に巡回して観察する調査を実施。**



# ●調査の概要

・調査日：

第一期 2022年3月24日～6月28日、8月16日～25日の合計18回

第二期 2022年9月20日～2023年3月21日の合計7回

(午前午後通しの回もある)

・調布市

若葉町1丁目、東つつじヶ丘2丁目、東つつじヶ丘3丁目、人間町2丁目

・世田谷区

成城3丁目、成城4丁目

トンネル直上エリアとそれを含む補償対象エリア、ならびにその周辺エリア

・合計333軒の家を対象とすることとなった(第二期は90軒)。

・参加者：毎回4名から5名、延べ約300時間・人

・データ集約・分析 延べ300時間・人

# ●調査の方法

- ・いくつかのエリアに分けて、巡回し、合計333軒の家を道路側から目視して観察
- ・写真／スケッチ／建物形状図への損壊部分の記載／データシートへの記入
- ・こうして得たデータを一覧表に落とし込んで整理のための番号をつけ、さらに「工事前」「工事後」で比較できるものを選び出していく

①可能な限り、Google Street View (stv)の過去の写真と照合させる

②住民、居住者の証言があればそれをもとに「工事前」「工事後」を判定

③家屋調査によって工事前後が比較できる場合はそれでも判定

④「工事影響とほぼ確定」「工事影響が疑われる」を選び出し、地図上にその分布を示す



2019年6月



2020年11月



2022年12月20日

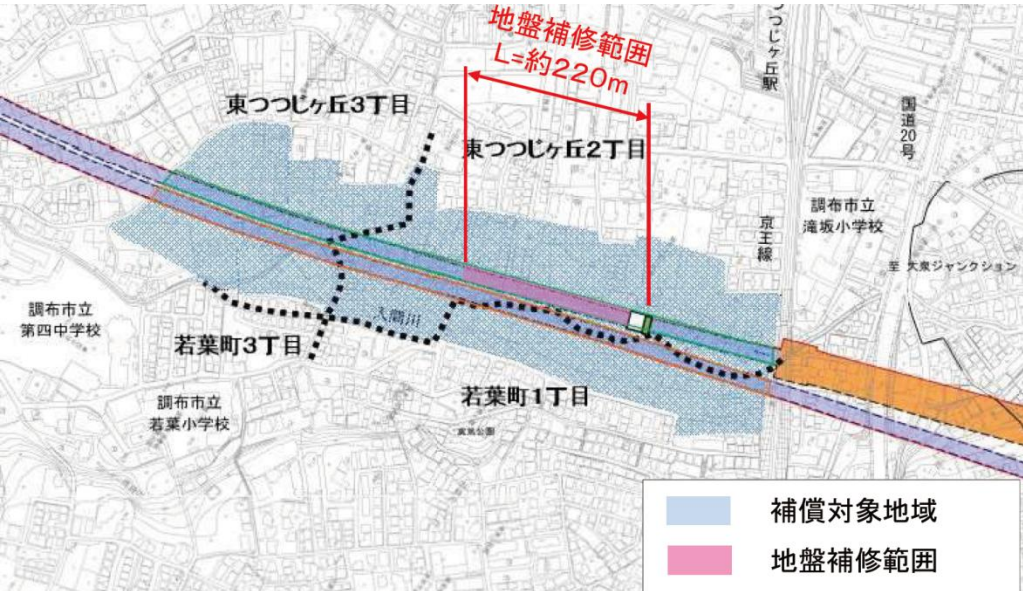
基礎部分からの縦の亀裂の進行





基礎部分の激しい亀裂(直上エリア):あまり例がない

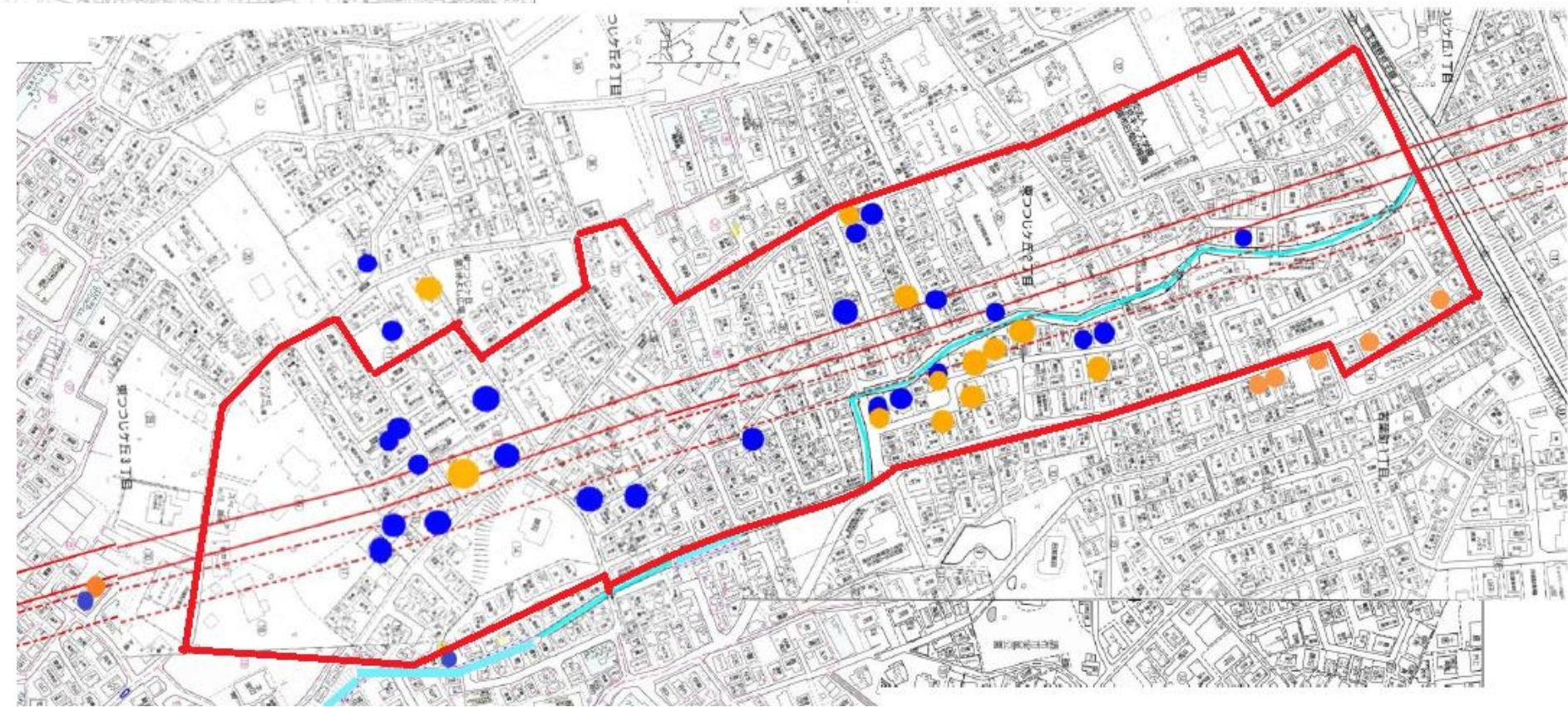




補償対象エリア外でも  
「工事に起因する」と推定  
できる損壊を受けた家屋は  
存在する。

エリア周辺では

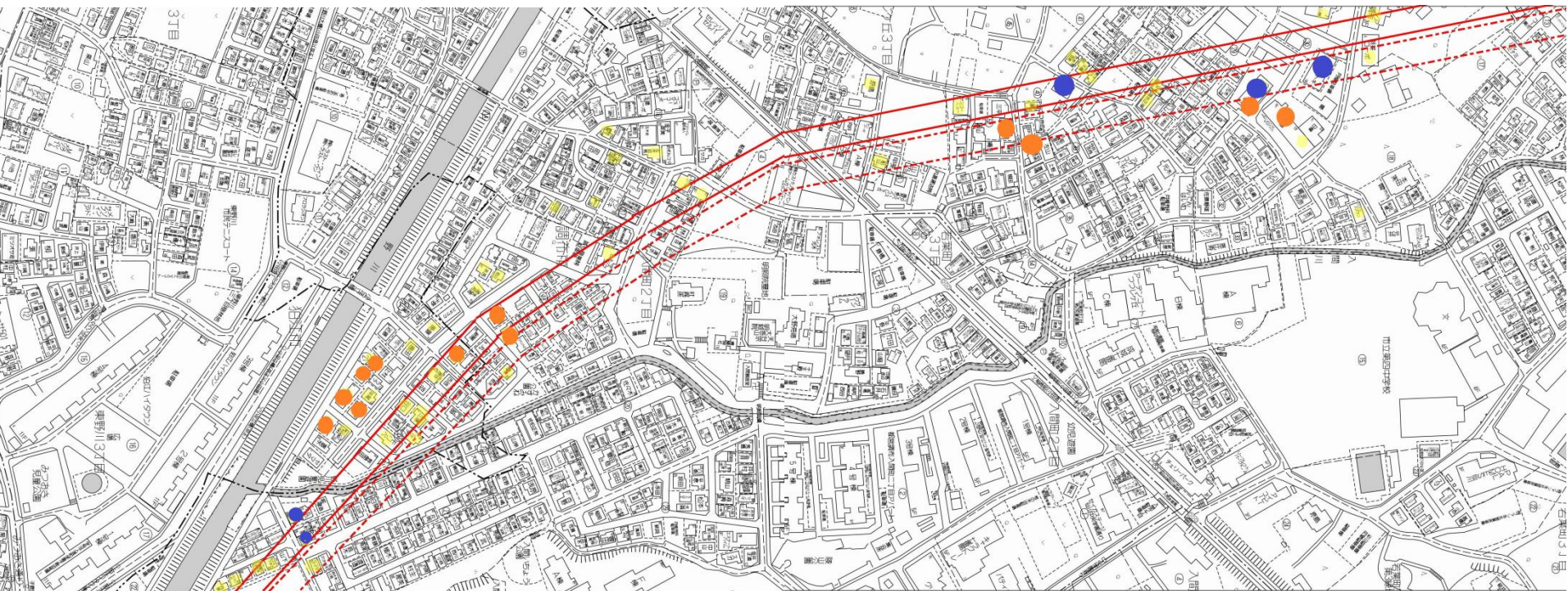
- ・確定できる……4軒
- ・疑わしい……5軒



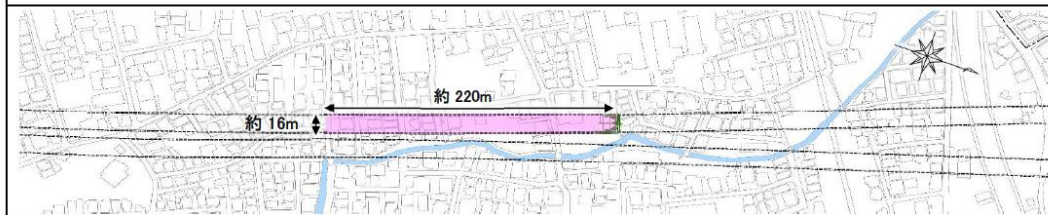


補償対象エリア外で、  
「工事に起因する」と推定できる損壊を受けた家屋は存在する。  
若葉町や人間町を含めて調布市全域では

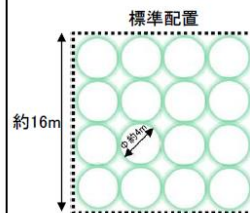
- ・確定できる……9軒
- ・疑わしい……16軒



# 地盤補修範囲

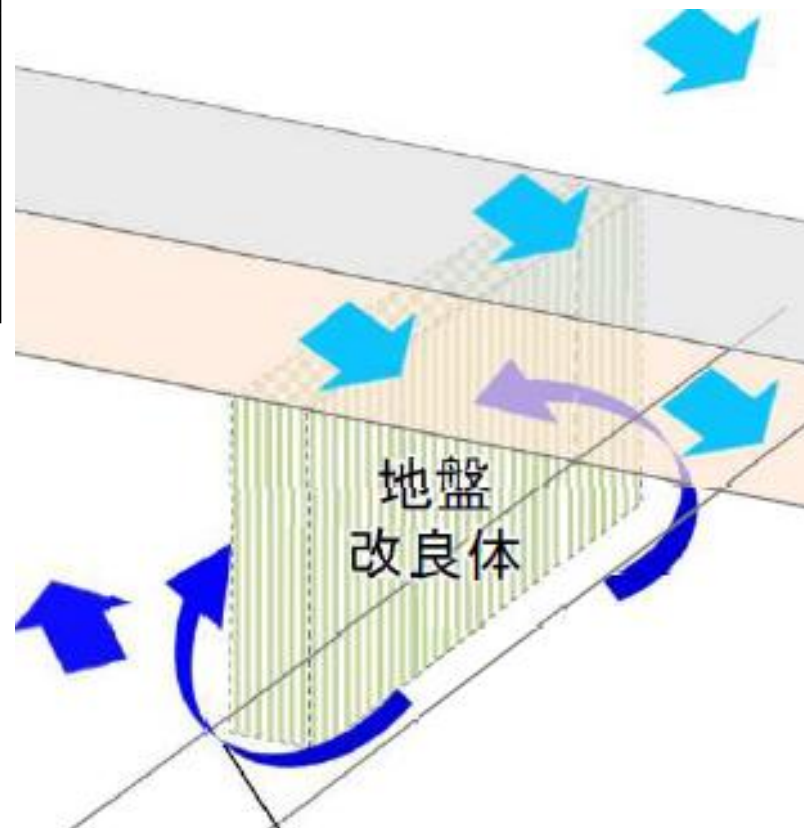
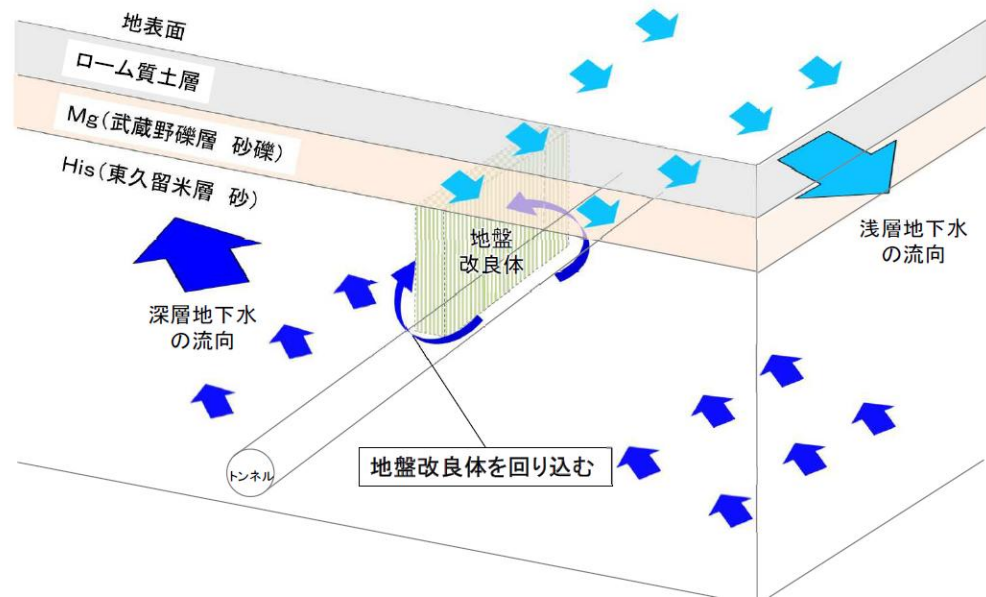
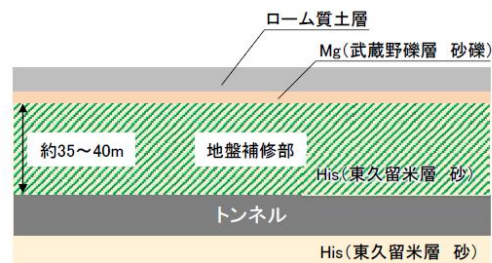


## 地盤改良体の配置・仕様等



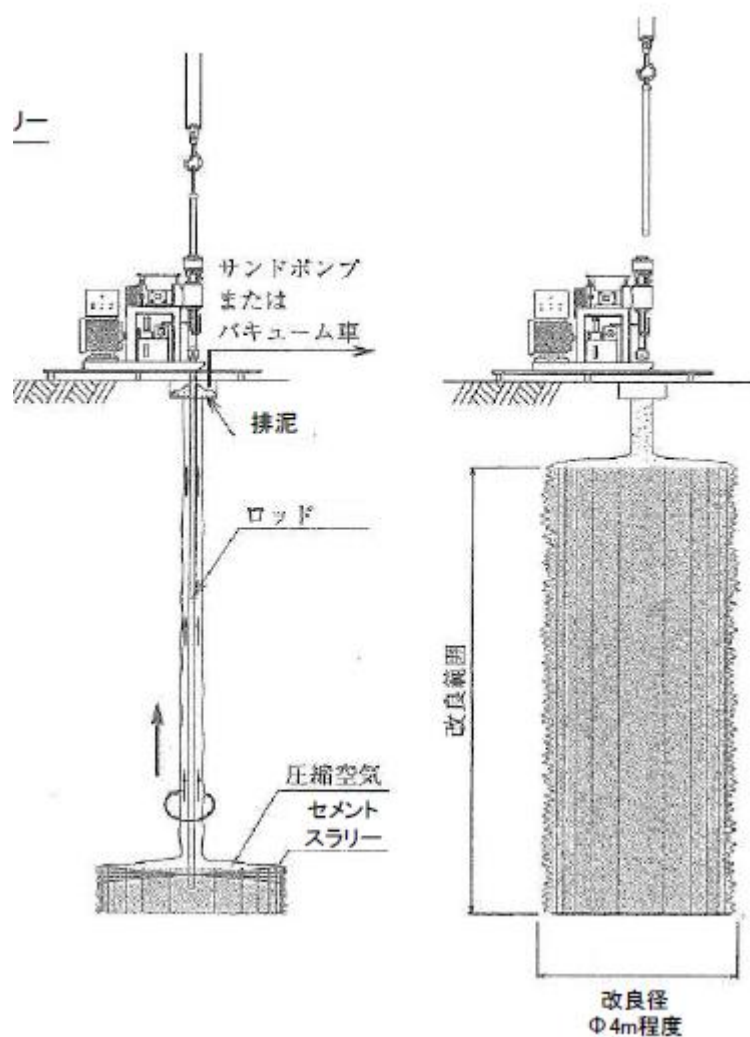
- ・強度：3MN/m<sup>2</sup>以上
- ・本数：約220本
- ・セメント系固化材：約130t/本
- ・排泥：約300m<sup>3</sup>/本

## 断面図





二



# 作業イメージ

家屋解体完了



仮囲いの設置



整地



地盤補修マシンの据付



削孔・地盤改良体造成(全景)

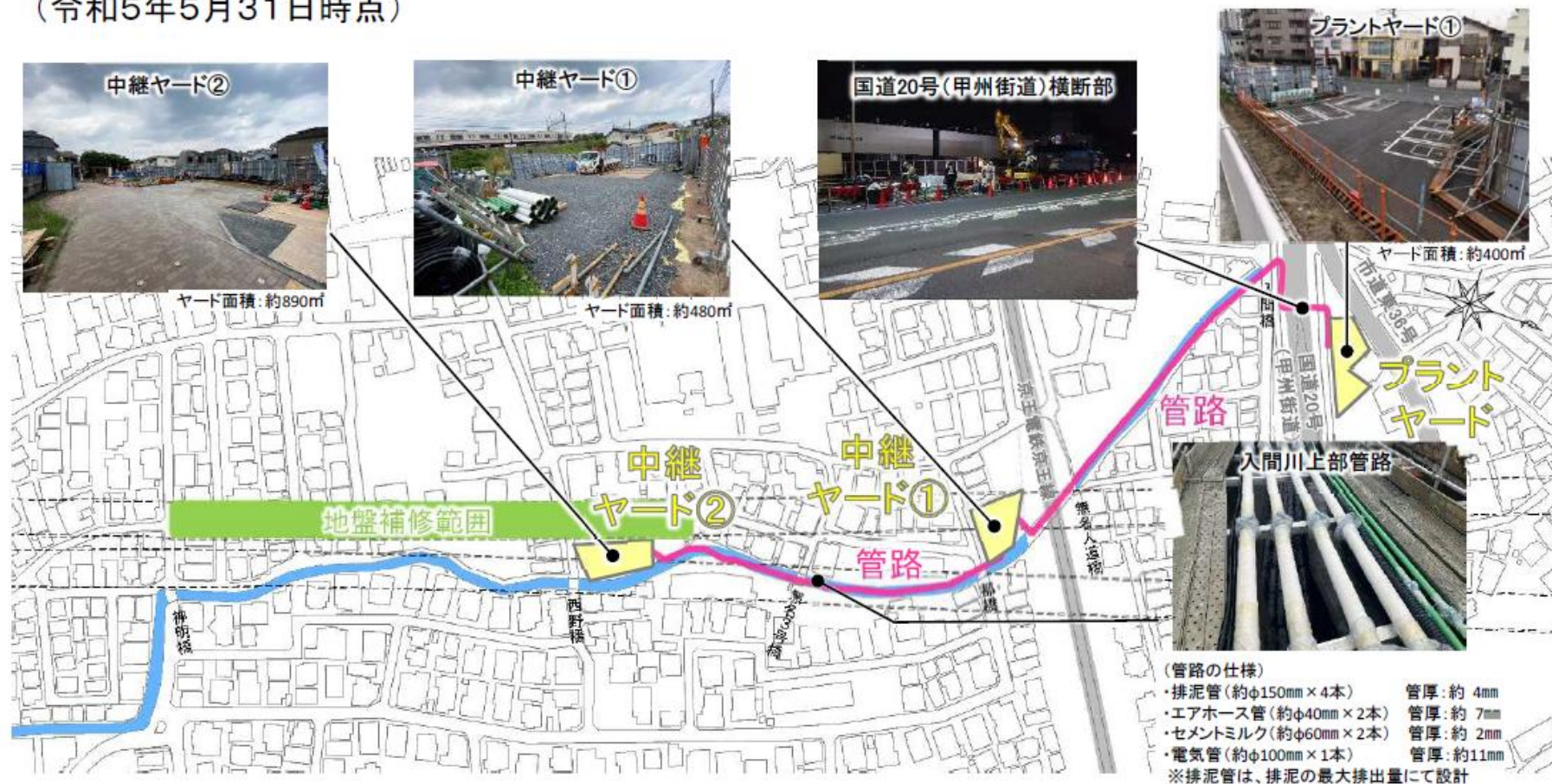


削孔・地盤改良体造成(近景)





○地盤補修範囲の仮移転・買収の対象は約30件で、現在までに5件の家屋解体が完了しています。  
(令和5年5月31日時点)







2023 06 28



2023 06 28





2023 07 05



2023 06 28



# ●事業者らに対する懸念事項についての専門的な公開質問状の提出と協議交渉

●被害の実態の調査を行わないで作られたこの文書に対しては、科学的な不備の指摘とともに、住民が合意し納得のできる形での協議体制が設けられなければならないと考え、「騒音・振動・低周波音の測定に関する要望および公開質問状」を、事業者を含む30箇所に送付し、一応の回答を得た（国交省と事業者は未回答、関連自治体はすべて回答）。

[https://www.shiminkagaku.org/gaikan\\_openletter\\_20200408/](https://www.shiminkagaku.org/gaikan_openletter_20200408/)

●調布エリアの地盤改良工事に伴って発生する恐れのある地下水への影響については、事業者らに「地下水に関連する懸念事項についての公開質問状」（2023年8月21日）を送付した。[https://www.shiminkagaku.org/gaikan\\_openletter\\_20230807/](https://www.shiminkagaku.org/gaikan_openletter_20230807/)

事業者はそれに対する直接の回答を避けたまま、以下の資料で「対策」を示したが、依然として不十分な点を多々含んでいる。

「地盤補修の施工に関するオープンハウス及び意見交換の場におけるご意見とその対応のとりまとめ」（令和6年1月24日時点）

[https://www.e-nexco.co.jp/news/cms\\_assets/news/2023/07/25/01.pdf](https://www.e-nexco.co.jp/news/cms_assets/news/2023/07/25/01.pdf)

●重大な事故に繋がりがねない、23年11月の東名JCT/Hランプトンネル内でのテールシールの破損（<https://www.e-nexco.co.jp/pressroom/kanto/2023/1208/00013224.html>）に対しても、疑義を「東名JCT・Hランプシールドトンネル工事における テールシール損傷についての公開質問状（その1）（その2）」で提示し、事業者と交渉を行っている（2024年3月29日、2025年6月18日）。[https://www.shiminkagaku.org/gaikan\\_openletter\\_20250618/](https://www.shiminkagaku.org/gaikan_openletter_20250618/)

# ●今後の課題

- ①陥没エリアでの地盤改良工事に伴って発生している、人間川での**気泡発生問題**は、事業者による原因究明が依然十分でない。現在、リニア新幹線トンネル工事の堀削に伴って発生している「**水枯れ**」**問題**ともあわせて、**地盤改良体の地下水への影響、ならびに気泡シールド工法の地盤と地上部への影響**について、専門家との議論を行うことで、把握できるようにしたい。
- ②今後シールドマシンの掘進がなされるエリアにおいては、**掘進の前にそのエリアに建っている建物の状態を写真に撮って記録しておくこと**が肝心である（家屋調査など）。中央JCT南エリア（三鷹市）で、2023年度にこの事前の記録取り調査を実施し、大泉JCTエリア（練馬区・杉並区）では住民の協力体制が築かれつつある。これをリニア中央新幹線エリアなどにも広げていく必要がある。

10月9日の青梅街道インター裁判で

## 原告がトンネル工事による健康被害を陳述！

この夏から秋、私たちの地域の地下を2基のシールドマシンが通過中です。区内を完全に抜けるのは年末とみられます。

そのなかで、地域住民の方々から外環本線トンネル工事による騒音・振動・低周波被害の報告が続々あがっています。

「朝からモーター音が聞こえる！ 右膝痛い、頭痛」(Aさん)「微震動。耳圧がかかった感じになる。なかなか眠れず葉飲んで寝る」(Bさん)「TVを付けていても音が聞こえる。耳を壁にあてるとズシンズシンと響いてくる」(Cさん)「1.5秒間隔くらいでズン、ズンと小さいけれど周期的な低周波振動」(Dさん)

外環道の地下化が決定された際、当時の石原都知事も国交省の役人も「地下40m下を通る工事だから地上には影響はない」と豪語していましたが、状況は全く違います。

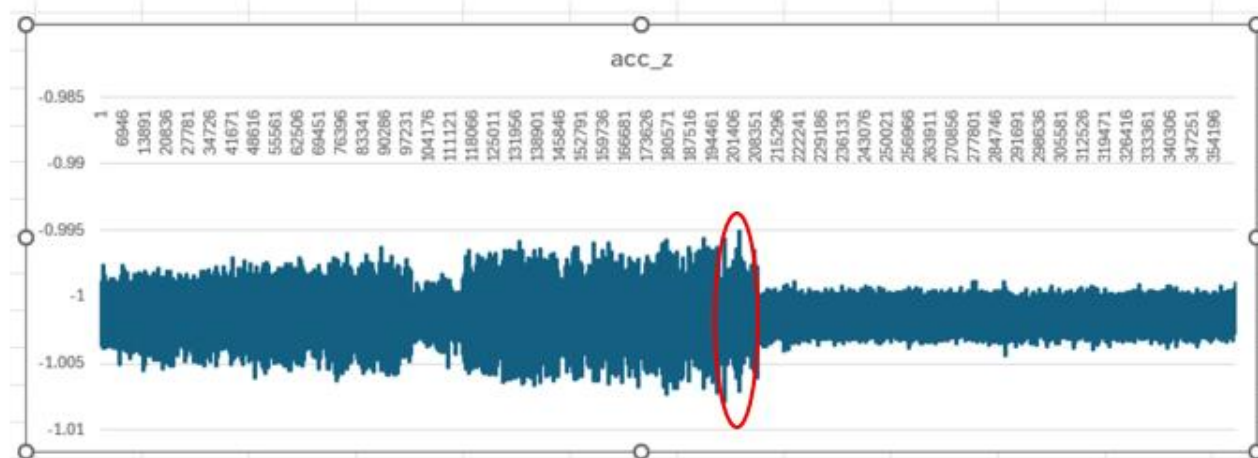
10月9日の青梅街道インター裁判では、外環工事がもたらす生活環境破壊状況について、原告の[ ]さんが10分間意見陳述を行います。ぜひとも傍聴に駆けつけてください！



|      |                                                           |                                                                                                                      |
|------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8/28 | 8/28 19時台<br>1階リビングで1.5秒間隔くらいでズンズンズンと小さいけれど周期的な低周波振動を感じた。 | 8/28 朝8:25から振動ズンズン音断続的にあり、現在12:14ズンズン音更に大きくなりかなり振動も有って13時からトリミングの犬(龍馬君)をテーブルで作業中も振動あり、夜はトイプードルお泊まりにくる(古川こむぎ君)お泊まりに来る |
| 8/29 | 8/29 19時台<br>1階リビングで1.5秒間隔くらいでズンズンズンと小さいけれど周期的な低周波振動を感じた。 | 8/29 朝8時過ぎから振動で壁ミシミシ言うほど、ドスンドスン音、13:50過ぎ又ドスンドスン音が降く15時犬(ハンナちゃん)が泊まりに来てるが結構な振動があり自分の                                  |

|  |  |                                                                                                          |
|--|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  | 犬2匹とお泊まりの犬達が音に驚いて警戒モードで片手あげていた、夜21:05現在もドスンドスン音響いて21:15テーブル上の物が揺れる今までで最高の震動音で下からの突き上げ凄く犬達も驚き更に緊張状態になっている |
|--|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|

8月29日 21時00分から21時59分の振動



・21時より前より掘進がなされていて、それがおそらく次第に近づいてきて、21時16分くらいに掘進の強度を弱め(停止した可能性もある※)、それが2分間ほど続き、そしてその後、21時16分までになされていたよりも強度を強めて21時34分くらいまでの16分間ほど続き(21:18-21:34あたり)、21時34分ころに弱めた(停止した可能性もある※)。



③各エリアに、シールドマシンの掘進の進行状況に応じて設置できるiPhone振動計による測定は、その基本的な体制が整ったが、肝心の、住民自身によって「体感記録」を作ることが必ずしもうまく行かない。最小限の手間で必要なデータを記録してもらえような方式をなんとか考案する必要がある。

④膨大な時間を費やして専門的な文献にもあたってまとめた「東名JCT・Hランプシールドトンネル工事における テールシール損傷についての公開質問状（その2）」ではあるが（A3 で18ページ）、残念ながら現時点までに事業者から回答はない。“当事者”—すなわち事業者が恣意的に線引したエリア内の住民—以外からの質問には答えないという極めて傲慢な姿勢を事業者は貫いている。この点を含めて、住民やその関係者らの意思・意向を蔑ろにする事業者の様々な行為について広く証言を残し、告発していく必要があると考えている。

⑤長引く地盤改良工事とそれに伴う直上エリアの住民に強いられた立ち退き（現時点で、立ち退き・解体の対象となった51軒の家屋のうち、7軒だけが未解体の状態にある）によって、東つつじヶ丘エリアは旧来のコミュニティが消失したと言える。陥没事故に至る掘進工事で引き起こされた健康被害や建物損傷についても、事業者は正式にその責任を認めていないし、補償も極めて不十分と言わざるを得ない。こうした**社会的損壊をもたらす事業が、いかなるものであったのか**を、**少なくとも証言や記録を残していくこと**が求められるはずだが、それができていない。当事者住民、そして少数ながらこの事態に目を向けているジャーナリストへ声がけすることで、何らかの形で「風化」を押し留める活動を立ち上げる必要がある。

- ・2,3名ずつのフォーカスグループインタビュー形式で証言データを集めていく

- ・それを積み重ねながら、

★時系列の経緯（年表） ★証言の要点一覧（項目別に分類して）とその証拠 ★運動の方法とその成果、今後の課題 ★外環をとおしてみた「公共事業と住民運動」の諸課題、をまとめていく